

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年3月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年5月31日開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年3月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「海辺にあった、町の病院～震災12年 石巻市雄勝町～」

3月11日放送 22:00～22:50 日本放送協会

3・11の大津波で入院患者と病院職員合わせて64人もの犠牲者が出た石巻市の雄勝病院。跡地に建つ慰霊碑を訪れる遺族の方々が亡き人への想いやあの日の記憶を語る。震災後12年を経て、誰もが語るべきことばを取り戻したかのようだ。カメラの前で語ることばをシンプルに並べた構成が、遺族の方々の複雑な心の内をよく伝えている。

日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」

1月8日～3月12日放送 22:30～23:25 日本テレビ放送網

奇想天外なフィクション性と細かすぎるほどの日常性、その両方を味わいつつ、先の見えない展開を毎週楽しみに見ることができるドラマだった。たくさんの笑いに満ちた全10話が終わる頃には女4人の友情に思わず涙。メインキャスト自らが「女優の放牧」と評するほどのびのび楽しく演じたという空気もこのドラマの多幸感を演出した。

ドラマ10「大奥」

1月10日～3月14日放送 22:00～22:45 日本放送協会

将軍が女性で、大奥が種付けの男性の世界という奇想天外な設定にもかかわらず、史実をしっかりと踏まえた原作を忠実に再現して堂々とした歴史ドラマとして展開した。それぞれの登場人物の性格が丁寧に描かれ、それぞれの「覚悟」を貫くところがさわやか。さまざまな形の情愛あふれた世界を作り上げて堪能させてくれた。

「タモリ倶楽部」

3月24日、31日放送 24:20～24:50 テレビ朝日

「毎度おなじみ流浪の番組……」。あのタイトルコールがもう聞けない喪失感は激甚だ。最後だからと力が入ることもなくいつも通り、期待を裏切らない緩い大爆笑で40年の歴史に幕。バカバカしさも乗り越えて、大人が真剣に遊ぶ洗練された番組だったと最後までうならせてくれた。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年6月号に掲載します